

2023年度

学校教育診断 アンケート結果

2023年度 学校教育診断アンケート 回答率

生徒			
	中学	高校	全体
回答数	65	807	872
在籍数	69	866	935
割合	94%	93%	93%

保護者	
	全体
回答数	626
在籍数	935
割合	67%

教員	
	全体
回答数	57
在籍数	57
割合	100%

2023年度 学校教育自己診断アンケート 質問項目

保護者用		生徒用		教職員用	
1	1 お子様は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	1	1 自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	1	1 本校は、生徒の学力向上に向けて組織的に取り組んでいる
	2 本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している		2 本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している		2 本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している
	3 本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している		3 本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している		3 本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している
2	4 教員は、保護者の相談に適切に対応してくれる	2	4 教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	2	4 教員は、生徒との面談や保護者からの相談に適切に応じている
	5 Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている		5 Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている		5 Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている
	6 本校は、授業参観など保護者が来校する機会をよく設けている		6 本校の生活指導について、教員の指導は適切である		6 本校は、体罰やセクシャルハラスメント防止を意識した生徒指導をおこなっている
3	7 入学後、お子様の自主性が向上したと感じられる	3	7 本校に入学して、自主性が向上した	3	7 本校の教育活動を通じて、生徒の自主性が向上している
	8 本校は、情報モラル教育を十分に行っている		8 本校は、情報モラル教育を十分に行っている		8 本校は、情報モラル教育を十分に行っている
	9 入学後、お子様の礼儀やマナーなどの社会性が向上したと感じられる		9 本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した		9 本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している
4	10 本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	4	10 本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	4	10 本校は、生徒の、自分の意見や考えを表現する力を向上させている
	11 入学後、お子様の、自分の意見や考えを表現する力が向上した		11 入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した		11 本校は、生徒に進路や生き方を考えさせる機会をよく設けている
	12 入学後、お子様が自身の進路や生き方を考える機会が増えた		12 入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた		12 生徒は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる
5	13 お子様は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	5	13 自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	5	13 生徒は、本校の学校行事に満足している
	14 お子様は、本校の学校行事に満足している		14 本校の学校行事に満足している		14 本校は、生徒の読書への興味や意欲を高める活動を推進している
	15 入学後、お子様が読書をする機会が増えたと感じられる		15 入学後、読書をする機会が増えた		15 本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる
6	16 本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	6	16 本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	6	16 本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している
	17 本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している		17 本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している		17 本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる
	18 本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる		18 本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる		18 本校の施設・設備面は、生徒が学習する環境として充実している
7	19 本校の施設・設備面は、お子様が学習する環境として充実している	7	19 本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	7	19 本校は、生徒の内面的成長につながる教育活動をおこなっている
	20 本校の教育活動を通じて、お子様が内面的に成長したと感じられる		20 本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる		20 本校の職場環境に満足している
	21 お子様を、本校に入学させてよかったと思う		21 本校に入学してよかったと思う		21 部長・主任職は各部署をよくまとめ、指導的役割を果たしている
				他	22 管理職は、現場教員の声に耳を傾けている
					23 管理職は、学校目標達成に向け、リーダーシップを発揮している
					24 教職員は、学校運営に支障がないよう自己責任を意識して行動している

《 2023年度の重点目標 》

- …主体的に学ぶ意欲・態度の伸長と確かな学力の育成
- …情報モラル教育の推進と更なるICT機器活用力の向上
- …協働的・探究的な学びの充実と自律的な行動力の育成

2023年度 学校教育診断(生徒用) アンケート結果(中学)

設問 番号	①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない	実 数				割 合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	13	33	13	6	20%	51%	20%	9%	71%	29%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	37	24	3	1	57%	37%	5%	2%	94%	6%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	32	26	6	1	49%	40%	9%	2%	89%	11%
4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	33	25	6	1	51%	38%	9%	2%	89%	11%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	43	18	3	1	66%	28%	5%	2%	94%	6%
6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である	35	22	7	1	54%	34%	11%	2%	88%	12%
7	本校に入学して、自主性が向上した	27	27	9	2	42%	42%	14%	3%	83%	17%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	38	23	3	1	58%	35%	5%	2%	94%	6%
9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した	29	28	5	3	45%	43%	8%	5%	88%	12%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	28	27	8	2	43%	42%	12%	3%	85%	15%
11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した	27	25	9	4	42%	38%	14%	6%	80%	20%
12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた	34	16	12	3	52%	25%	18%	5%	77%	23%
13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	27	24	7	7	42%	37%	11%	11%	78%	22%
14	本校の学校行事に満足している	44	14	5	2	68%	22%	8%	3%	89%	11%
15	入学後、読書をする機会が増えた	21	17	18	9	32%	26%	28%	14%	58%	42%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	27	26	8	4	42%	40%	12%	6%	82%	18%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	35	26	4	0	54%	40%	6%	0%	94%	6%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	44	21	0	0	68%	32%	0%	0%	100%	0%
19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	38	23	3	1	58%	35%	5%	2%	94%	6%
20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる	30	26	6	3	46%	40%	9%	5%	86%	14%
21	本校に入学してよかったと思う	42	19	2	2	65%	29%	3%	3%	94%	6%

2023年度 学校教育診断(生徒用) アンケート結果(高校)

設問 番号	①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない	実 数				割 合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	229	327	186	65	28%	41%	23%	8%	69%	31%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	472	272	37	26	58%	34%	5%	3%	92%	8%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	343	390	60	14	43%	48%	7%	2%	91%	9%
4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	444	311	36	15	55%	39%	4%	2%	94%	6%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	430	318	48	11	53%	39%	6%	1%	93%	7%
6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である	279	368	106	53	35%	46%	13%	7%	80%	20%
7	本校に入学して、自主性が向上した	218	371	156	62	27%	46%	19%	8%	73%	27%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	330	361	95	21	41%	45%	12%	3%	86%	14%
9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した	285	333	143	46	35%	41%	18%	6%	77%	23%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	421	318	47	21	52%	39%	6%	3%	92%	8%
11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した	280	362	125	40	35%	45%	15%	5%	80%	20%
12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた	458	277	48	23	57%	34%	6%	3%	91%	9%
13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	317	223	120	147	39%	28%	15%	18%	67%	33%
14	本校の学校行事に満足している	243	336	165	63	30%	42%	20%	8%	72%	28%
15	入学後、読書をする機会が増えた	67	94	247	398	8%	12%	31%	49%	20%	80%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	279	376	116	36	35%	47%	14%	4%	81%	19%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	343	371	64	29	43%	46%	8%	4%	88%	12%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	476	261	55	14	59%	32%	7%	2%	91%	9%
19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	426	314	48	18	53%	39%	6%	2%	92%	8%
20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる	298	364	102	43	37%	45%	13%	5%	82%	18%
21	本校に入学してよかったと思う	322	331	104	50	40%	41%	13%	6%	81%	19%

2023年度 学校教育診断(生徒用) アンケート結果(学年別)

設問 番号	①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない	中学		高1		高2		高3		高校	
		プラス	マイナス	プラス	マイナス	プラス	マイナス	プラス	マイナス	プラス	マイナス
1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	71%	29%	53%	47%	70%	30%	85%	15%	69%	31%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	94%	6%	91%	9%	90%	10%	96%	4%	92%	8%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	89%	11%	89%	11%	90%	10%	94%	6%	91%	9%
4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	89%	11%	94%	6%	91%	9%	95%	5%	94%	6%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	94%	6%	92%	8%	92%	8%	94%	6%	93%	7%
6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である	88%	12%	83%	17%	76%	24%	82%	18%	80%	20%
7	本校に入学して、自主性が向上した	83%	17%	65%	35%	69%	31%	85%	15%	73%	27%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	94%	6%	85%	15%	80%	20%	91%	9%	86%	14%
9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した	88%	12%	71%	29%	72%	28%	87%	13%	77%	23%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	85%	15%	91%	9%	90%	10%	94%	6%	92%	8%
11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した	80%	20%	71%	29%	77%	23%	91%	9%	80%	20%
12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた	77%	23%	88%	12%	90%	10%	96%	4%	91%	9%
13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	78%	22%	64%	36%	58%	42%	79%	21%	67%	33%
14	本校の学校行事に満足している	89%	11%	69%	31%	67%	33%	79%	21%	72%	28%
15	入学後、読書をする機会が増えた	58%	42%	14%	86%	18%	82%	28%	72%	20%	80%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	82%	18%	84%	16%	72%	28%	87%	13%	81%	19%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	94%	6%	90%	10%	85%	15%	90%	10%	88%	12%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	100%	0%	91%	9%	90%	10%	93%	7%	91%	9%
19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	94%	6%	91%	9%	91%	9%	94%	6%	92%	8%
20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる	86%	14%	77%	23%	80%	20%	89%	11%	82%	18%
21	本校に入学してよかったと思う	94%	6%	78%	22%	76%	24%	88%	12%	81%	19%

2023年度 学校教育診断(保護者用) アンケート結果(全体)

設問 番号	①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない	実 数				割 合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	お子様は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	205	253	125	43	33%	40%	20%	7%	73%	27%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	412	182	26	6	66%	29%	4%	1%	95%	5%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	245	326	52	2	39%	52%	8%	0%	91%	9%
4	教員は、保護者の相談に適切に対応してくれる	315	256	42	10	51%	41%	7%	2%	92%	8%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	429	175	20	2	69%	28%	3%	0%	96%	4%
6	本校は、授業参観など保護者が来校する機会をよく設けている	328	266	29	3	52%	42%	5%	0%	95%	5%
7	入学後、お子様の自主性が向上したと感じられる	216	286	101	22	35%	46%	16%	4%	80%	20%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	215	353	50	3	35%	57%	8%	0%	91%	9%
9	入学後、お子様の礼儀やマナーなどの社会性が向上したと感じられる	141	347	117	17	23%	56%	19%	3%	78%	22%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	233	308	68	14	37%	49%	11%	2%	87%	13%
11	入学後、お子様の、自分の意見や考えを表現する力が向上した	153	316	138	17	25%	51%	22%	3%	75%	25%
12	入学後、お子様が自身の進路や生き方を考える機会が増えた	247	289	75	14	40%	46%	12%	2%	86%	14%
13	お子様は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	213	206	134	70	34%	33%	22%	11%	67%	33%
14	お子様は、本校の学校行事に満足している	209	342	61	12	33%	55%	10%	2%	88%	12%
15	入学後、お子様が読書をする機会が増えたと感じられる	30	124	282	189	5%	20%	45%	30%	25%	75%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	202	338	66	9	33%	55%	11%	1%	88%	12%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	234	345	35	5	38%	56%	6%	1%	94%	6%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	357	245	17	4	57%	39%	3%	1%	97%	3%
19	本校の施設・設備面は、お子様が学習する環境として充実している	369	224	25	6	59%	36%	4%	1%	95%	5%
20	本校の教育活動を通じて、お子様が内面的に成長したと感じられる	209	324	74	16	34%	52%	12%	3%	86%	14%
21	お子様を、本校に入学させてよかったと思う	356	220	37	12	57%	35%	6%	2%	92%	8%

2023年度 学校教育診断(教員用) アンケート結果

設問 番号	①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④あてはまらない	実 数				割 合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	本校は、生徒の学力向上に向けて組織的に取り組んでいる	38	18	1	0	67%	32%	2%	0%	98%	2%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	49	7	1	0	86%	12%	2%	0%	98%	2%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	30	26	1	0	53%	46%	2%	0%	98%	2%
4	教員は、生徒との面談や保護者からの相談に適切に応じている	53	4	0	0	93%	7%	0%	0%	100%	0%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	45	11	0	1	79%	19%	0%	2%	98%	2%
6	本校は、体罰やセクシャルハラスメント防止を意識した生徒指導をおこなっている	35	17	4	1	61%	30%	7%	2%	91%	9%
7	本校の教育活動を通じて、生徒の自主性が向上している	16	35	5	1	28%	61%	9%	2%	89%	11%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	17	31	8	1	30%	54%	14%	2%	84%	16%
9	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	45	11	1	0	79%	19%	2%	0%	98%	2%
10	本校は、生徒の、自分の意見や考えを表現する力を向上させている	32	21	4	0	56%	37%	7%	0%	93%	7%
11	本校は、生徒に進路や生き方を考えさせる機会をよく設けている	35	19	3	0	61%	33%	5%	0%	95%	5%
12	生徒は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	21	32	3	1	37%	56%	5%	2%	93%	7%
13	生徒は、本校の学校行事に満足している	31	22	3	1	54%	39%	5%	2%	93%	7%
14	本校は、生徒の読書への興味や意欲を高める活動を推進している	23	26	8	0	40%	46%	14%	0%	86%	14%
15	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	42	12	1	2	74%	21%	2%	4%	95%	5%
16	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	34	22	0	1	60%	39%	0%	2%	98%	2%
17	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	19	29	8	1	33%	51%	14%	2%	84%	16%
18	本校の施設・設備面は、生徒が学習する環境として充実している	26	24	5	2	46%	42%	9%	4%	88%	12%
19	本校は、生徒の内面的成長につながる教育活動をおこなっている	29	23	4	1	51%	40%	7%	2%	91%	9%
20	本校の職場環境に満足している	30	19	6	2	53%	33%	11%	4%	86%	14%
21	部長・主任職は各部署をよくまとめ、指導的役割を果たしている	39	13	3	2	68%	23%	5%	4%	91%	9%
22	管理職は、現場教員の声に耳を傾けている	25	20	8	4	44%	35%	14%	7%	79%	21%
23	管理職は、学校目標達成に向け、リーダーシップを発揮している	24	24	6	3	42%	42%	11%	5%	84%	16%
24	教職員は、学校運営に支障がないよう自己責任を意識して行動している	36	15	6	0	63%	26%	11%	0%	89%	11%

大阪青凌中学校高等学校
2023年度 学校教育診断 結果報告

A 本年度の教育活動（主要行事の実施概要）

① 体育祭

日程：2023年5月24日（水）実施

会場：丸善インテックアリーナ大阪

方針：「魅せる体育祭」から「繋がる体育祭」へ

目的：○積極的に取り組み、主体性・協調性を身に付ける。

○中高・学年の枠を越えて団結し、一体となって魅力ある行事を構築する。

○実行委員が企画・運営し、リーダーシップを身に付ける。

スローガン：「連繋（れんけい）～声が繋ぐ心と笑顔～」

生徒満足度（肯定的評価）：95.6%

実行委員達成度（肯定的評価）：81.8%

保護者来場者数：832名

※昨年度、3年ぶり（校地移転後初）の開催となった体育祭だったが、今年度は、方針やスローガンにもあるとおり、「つながる」「つなぐ」ことを意識しつつ、昨年度の反省点を踏まえて、ほぼコロナ前の流れ・形態で実施することができた。今回も、前年度の段階で生徒（高1・高2）から実行委員を募り、昨年度を上回る総勢82名が立候補してくれた。予行から本番まで、基本的にはすべて実行委員が中心となってプログラムが進行し、盛況のうちに終了することができた。

② 青凌祭

日程：2023年9月2日（土）・9月3日（日）

会場：トリシマホール【旧高槻現代劇場】（初日）、本校（2日目）

目標：○生徒（個）やクラス（集団）が、行事を通して成長を実感できる行事を創る

○主体的に行動し、自分たちで創り上げる青凌祭

スローガン：「It's 笑 time!～ふざけんな!? ふざけろよ!!!～」

生徒満足度（肯定的評価）：初日 99.2%、2日目 98.1%

保護者来場者数：初日 315名（昨年度 190名）、2日目 888名（昨年度 352名）

※体育祭同様、保護者来場可能の形態に戻して2年目の文化祭となった。前年度より公募によって集まった実行委員（高1～高3、45名）が、土台の部分（ガイドライン等）や全体の企画について検討し、本番も、実行委員が中心になって運営に当たった。次年度に向けては、「文化的要素を高める」「質的向上につなげる」ことを念頭に、すでに以下のスケジュールで動き始めている。

○総括を共有・意見交換会実施（10月職員会議）

○実行委員中心メンバー募集（11月）

○2024年度 青凌祭検討会議（1月～2月）

○今後の動きを共有（2月職員会議）

○実施要項案提示（3月職員会議）

○学級発表内容の決定（4月）

③修学旅行

【高校2年生】

日程：国内 2023年10月14日（土）～18日（水）4泊5日

海外 2023年10月12日（木）～18日（水）6泊7日

行先：北海道・沖縄・オーストラリア（選択制）

目標：1. 豊かな自然に触れながら、働く人との交流をすることで、仕事に対する見識を深め、将来像を具体化する

2. 多くの人々との交流を通して、コミュニケーション能力を高める

3. 団体行動のルールを遵守し、主体性、協調性を養う

業者：JTB

北海道方面

行程：ルスツ～札幌～小樽

生徒：196名

生徒満足度（肯定的評価）：97.8%

目標達成度（肯定的評価）：1. 83.8% 2. 84.7% 3. 77.8%

沖縄方面

行程：那覇～西表島～石垣島

生徒：32名

生徒満足度（肯定的評価）：96.8%

目標達成度（肯定的評価）：1. 90.3% 2. 87.1% 3. 100%

オーストラリア方面

行程：メルボルン～フィリップ島

生徒：54名

生徒満足度（肯定的評価）：97.0%

目標達成度（肯定的評価）：94.0%（目標全体）

※昨年度、3年ぶりに、海外も含めた本来の形での修学旅行を再開し、本年度は、3コースともほぼ制限のない形で実施することができた。目標の2番目にある、「交流・コミュニケーション」に直結する民泊は、北海道・沖縄ともに、本年度から受け入れ可能となり、久しぶりに参加者全員が、民泊・ファームステイを体験することができた。事後アンケートの民泊・ファームステイの項目を見ると、3コースそれぞれに、90%以上の生徒が肯定的評価をしており、「修学旅行での一番の思い出になった」という声もあった。なお、修学旅行委員については、1年次のうちに委員長、副委員長を決定し、目標やルール決め、スマホの使い方などについて話し合い、しおりを作成した。また出発時や食事時の挨拶や号令、呼びかけ等もすべて委員がおこなった。

【中学3年生】

日程：2023年10月20日（金）～29日（日）9泊10日

行先：オーストラリア ブリスベン・ゴールドコースト方面

目標：○校訓「自主自律」の精神のもと、国際交流・異文化体験を通じて自己を成長させる。

○まちがいを恐れず、英語を積極的に使い、言葉の壁を乗り越えた心のコミュニケーションをはかる。

生徒満足度（5点満点）：ホームステイ 4.7・現地校研修 4.4

目標達成度（5点満点）：ホームステイ 4.3・現地校研修 4.3

※中学海外研修は、中学部として、入学時からのコミュニケーション能力・プレゼンテーション力の育成を目指した取り組みの集大成として位置付けている。新型コロナウイルスの影響で、海外研修自体は4年振りの実施となった。この間、以下のとおり、研修内容の見直しを行ったが、生徒の満足度や達成度については、いずれも良好な結果が見られた。

●場所：ケアンズ→ブリスベン

●時期：7月→10月

●内容：現地校研修の拡大

B 本年度の重点目標

本年度の重点目標は、以下の3点である。なお、重点目標は3年間は固定し、年度ごとに目標への達成度をアンケートで確認する。本年は、3年サイクルの初年度にあたる。アンケート対象者は、生徒・保護者・教員である。

○重点目標1 主体的に学ぶ意欲・態度の伸長と確かな学力の育成

○重点目標2 情報モラル教育の推進と更なるICT機器活用力の向上

○重点目標3 協働的・探究的な学びの充実と自律的な行動力の育成

以下、それぞれについて、アンケート結果を検証する。

目標1 主体的に学ぶ意欲・態度の伸長と確かな学力の育成

→新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、今年度は、行事等の動きや内容は、ほぼコロナ前の状態に戻った。三大大行事である、体育祭・文化祭・修学旅行についても、概ね予定通りに実施することができた。各種行事や委員会活動、またMT（マネジメントタイム）や読書活動を通じての主体性・自主性伸長について検証する。

① 評価指標

生徒対象 学校教育診断アンケート 設問番号 1・7・13

保護者対象 学校教育診断アンケート 設問番号 1・7・13

教職員対象 学校教育診断アンケート 設問番号 7・12

② 取組状況

[体育祭・青凌祭・修学旅行]

三大大行事の実施概要については、先述のとおりである。

[生徒会・委員会活動]

生徒会（中高別、週1回）・各種委員会（月1回）・常任委員会（学期1回）を通じて、対生徒に向けては、校内美化・あいさつ・時間管理（ベル着等）についての啓発を行った。また、代議員が中心となって生徒の意見を集約し、年末には中高生徒会役員と教員による意見交換会が実施された。

[マネジメントタイム]

朝と放課後に実施しているマネジメントタイム（以下 MT）も導入から 4 年目を迎えた。朝の MT では、始業前に早めに登校して自主的に学習する生徒たちの姿や、複数のクラブで朝練を行う様子が見受けられ、放課後の MT では、クラブ活動・教師への質問・自主学習・探究活動など、生徒たちは自分の取り組みを自由に選択することができる。多くの生徒たちが、自主的かつ計画的に行動している。

[読書活動]

国語科による文章力養成プログラムの一環として、特に中学生には全学年で新聞投書や読書感想文指導を継続して行っている。また、中学部の取り組みとして、始業前の朝読書活動がこれも全学年で定着している。一方、複数教員からなる読書活動推進委員会が、有志生徒によって組織された図書委員会と連携しながら、図書通信発行、ポイント制導入、教員おすすめ本の紹介、ビブリアの活用、校長インタビューなど、様々な活動を行いながら、今年度は以下のようなイベントも実施した。

7/1：ブックトーク

7/8：教員ビブリオバトル

11/24：怪談 MT（講師：松竹芸能 松原タニシさん・にしねザタイガーさん）

◎達成状況

学校教育診断アンケートの結果は以下のとおりである。数字は、①「よくあてはまる」・②「ややあてはまる」の 2 つを合わせたパーセンテージ。

[生徒の結果]

- 1「自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる」
- 7「本校に入学して、自主性が向上した」
- 13「自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる」

	中学	高 1	高 2	高 3
項目 1	71	53	70	85
項目 7	83	65	69	85
項目 13	78	64	58	79

（単位：％）

[保護者の結果]

- 1「お子様は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる」
- 7「入学後、お子様の自主性が向上したと感じられる」
- 13「お子様は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる」

	保護者
項目 1	73
項目 7	80
項目 13	67

（単位：％）

[教員の結果]

- 7「本校の教育活動を通じて、生徒の自主性が向上している」
- 12「生徒は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる」

教員

項目 7	89
項目 12	93 (単位：%)

今年度のクラブ加入率は、中学生が 74.3%、高校生が 69.4%と、全体で約 7 割の生徒が何らかの部活動に参加している。この状況が、そのまま項目 13 (生徒・保護者) の数字に表れているように思われる。一方で、項目 7 に注目すると、生徒 (中学・高 3)、保護者、教員それぞれにプラス評価が 8 割を超えているが、高校生の自己評価が、学年が上がるにつれて上昇しているところに、本校の各種取り組みが、生徒の自主性伸長に寄与していることがわかる。

なお、評価指標としての設定はしていないが、目標 1 に関連する項目にあたる読書活動について、全項目中唯一肯定的評価が低かった (生徒・保護者) ため、ここで取り上げておきたい。本校の読書活動は、先述のとおり、中学部また読書活動推進委員会を中心として、現在、各種取り組みを行っているところである。中学生は、始業前の朝読書の取り組みが定着している様子が数字からも見て取れるが、高校生また保護者の肯定的評価は 2 割程度である。一方で、教員の数字を見ると、肯定的評価が 8 割を超えていることから、生徒に向けた様々な取り組みは行われているものの、多くの生徒たちが実際に書物を手に取って日常的に読書が行われているかということ、まだその段階には至っていない。

〔生徒の結果〕

15 「入学後、読書をする機会が増えた」

	中学	高 1	高 2	高 3	
項目 15	58	14	18	28	(単位：%)

〔保護者の結果〕

15 「入学後、お子さまが読書をする機会が増えたと感じられる」

保護者

項目 15	25 (単位：%)
-------	-----------

〔教員の結果〕

14 「本校は、生徒の読書への興味や意欲を高める活動を推進している」

教員

項目 14	86 (単位：%)
-------	-----------

㊤ 今後の課題

校地移転後、国語科また中学部を中心として「学外 (島本地域) の人たちとの交流を深める計画」について検討し、町立図書館訪問や農業支援活動等の動きが始まった。コロナ禍による中断もあり、依然、単発的な取り組みの域を出ないが、特に農業支援活動については、中学部の総合学習の一環として、次年度は教科主任会とも連携し、教科横断的な動きも取りつつ、より体系的な取り組みにしていく予定にしている。一方、生徒会が計画を進めていた「縁プロジェクト」については、今年度、思ったような動きが取れ

ず、計画倒れとなってしまった。今年度の総括をもとに、次年度は具体的な動きにつなげたい。

目標 2 情報モラル教育の推進と更なる ICT 機器活用力の向上

→ 今年度は、生徒 1 人 1 台の iPad 導入から 6 年目の年にあたり、全校生徒が iPad を所持するようになって丸 4 年が経とうとしている。Classi や GoogleClassroom 等の学習に関するソフトウェアは、日々ホームルームや授業において、全学年で活用している。また、情報モラル教育については、人権教育委員会が重点目標として掲げ、各学年ごとに、情報モラル LHR を行っている。

④ 評価指標

生徒対象 学校教育診断アンケート 設問番号 2・5・8
保護者対象 学校教育診断アンケート 設問番号 2・5・8
教職員対象 学校教育診断アンケート 設問番号 2・5・8

④ 取組状況

[授業]

日々の授業は、教室前方に設置された短焦点プロジェクターを使用して行われることが多い。生徒は、iPad 内のノートアプリ (GoodNotes) を使って授業を受け、授業中に使用する教材や課題についても基本的には配信が主となっている。また、教科に関連するアプリも複数インストールされており、適宜有効活用されている。一方で、数学の授業では、ICT 機器を活用しながらも、記述問題の解答作成指導のために、あえて教師が板書し、生徒たちもノートに自筆で記入することがある。学習関連以外では、朝礼連絡や落とし物の連絡等も Classi を通じて連日行われている。また、保護者に対しても、学校からの連絡事項は紙媒体ではなく、Classi やメール配信サービスを活用して、即時に配信されている。

[情報モラル教育]

4 月：中学 LHR 「iPad 利用 7Rules 作成」
10 月：高 1 LINE 講習会
10 月：高 3 LHR 「ICT 機器の正しい使い方」
11 月：中学 LINE 講習会
11 月：高 1 LHR 「コミュニケーションについて考える」
1 月：高 2 LHR 「SNS に関するトラブル回避」

◎ 達成状況

[生徒の結果]

2 「本校は、iPad や Classi などの ICT ツールを有効的に活用している」
5 「Classi・メール配信・ホームページなどで学校の情報は適切に伝えられている」
8 「本校は、情報モラル教育を十分に行っている」

	中学	高 1	高 2	高 3
項目 2	94	91	90	96
項目 5	94	92	92	94
項目 8	94	85	80	91 (単位：%)

[保護者の結果]

- 2「本校は、iPad や Classi などの ICT ツールを有効的に活用している」
- 5「Classi・メール配信・ホームページなどで学校の情報は適切に伝えられている」
- 8「本校は、情報モラル教育を十分に行っている」

保護者

項目 2	95
項目 5	96
項目 8	91 (単位：%)

[教員の結果]

- 2「本校は、iPad や Classi などの ICT ツールを有効的に活用している」
- 5「Classi・メール配信・ホームページなどで学校の情報は適切に伝えられている」
- 8「本校は、情報モラル教育を十分に行っている」

教員

項目 2	98
項目 5	98
項目 8	84 (単位：%)

項目 2・5 については、生徒、保護者、教員それぞれに 9 割を超える肯定的評価が得られた。校内に、ICT ツールが完全に定着し、情報共有の手段としても最大限に活用されている状況がわかる。一方で、項目 8 については、特に中学生に対して手厚く指導している実態が数字として表れている。保護者の受け止めの高さに比して、教員の評価がやや低いのは、情報モラルの指導計画に改善の余地が見られると捉えるべきであろう。

㉠ 今後の課題

ICT については、高評価に甘んじることなく、ソフトウェアやデジタル教材の見直し・選定も含めて、引き続き有効活用について検討を重ねたい。一方、情報モラル教育の推進については、中学生と高校 1 年生に対する、いわゆる初期指導を徹底し、各学年ごとの LHR については、人権教育委員会において、LHR の振り返りをもとに、実施時期・内容について検証を進めたい。

目標 3 協働的・探究的な学びの充実と自律的な行動力の育成

→ 本校の探究活動は、学習支援部が中心となって進めている。総合的な探究の時間を含む探究活動での多様な経験を通じて、自分自身を理解し、他者と協働しながら地域や社会の課題やその解決方法を主体的に見つけだし、プレゼンテーションや論文で自分の主張を他者へ的確に伝えることができる生徒の育成を目指している。

㉡ 評価指標

生徒対象	学校教育診断アンケート	設問番号 3・9・11
保護者対象	学校教育診断アンケート	設問番号 3・9・11
教職員対象	学校教育診断アンケート	設問番号 3・10

⑤ 取組状況

〔探究活動〕

中学生・高校生ともに、各学年ごとに実施している探究活動では、課題の設定や調べ学習、発表（プレゼンテーション）などが個人やグループ単位で行われるが、これらは生徒の自主性の伸長に少なからず寄与している。グループによる発表では、仲間と協力することで得られる自信や達成感を抱いた生徒も多い。

⑥ 達成状況

〔生徒の結果〕

- 3「本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している」
- 9「本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した」
- 11「入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した」

	中学	高1	高2	高3
項目 3	89	89	90	94
項目 9	88	71	72	87
項目 11	80	71	77	91

（単位：％）

〔保護者の結果〕

- 3「本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している」
- 9「入学後、お子さまの礼儀やマナーなどの社会性が向上したと感じられる」
- 11「入学後、お子さまの、自分の意見や考えを表現する力が向上した」

	保護者
項目 3	91
項目 9	78
項目 11	75

（単位：％）

〔教員の結果〕

- 3「本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している」
- 10「本校は、生徒の、自分の意見や考えを表現する力を向上させている」

	教員
項目 3	98
項目 10	93

（単位：％）

項目 3 について、生徒、保護者、教員ともに、肯定的評価がほぼ 9 割を超えており、3 年ないし 6 年を見通した本校の探究活動が各方面に定着していることがわかる。項目 9 と 11 は、高校 1・2 年生でやや低めの数字が出ているが、高校 3 年生の数字が高いことから、本校での体系的な探究学習を通じて、最終段階での自律的成長実感につながっていることが読み取れる。

⑦ 今後の課題

中学部の総合学習については、目標 1 の項目で述べたが、高校部の総合学習（総合探究）については、今年度より 3 年間の流れ・内容を一部見直し、再スタートを切ったところである。加えて、従来、学級担任が担当していた総合学習（総合探究）の時間

を、次年度より探究担当者が横持ちで受け持つことにより、より効率よく授業を展開することができるものとする。

以上

第 1 回実施日時：2024 年 3 月 15 日（金）14:00～

- ・校長より、本校の教育活動とアンケート結果について報告
- ・質疑応答・ご意見

① iPad のアプリ（Classi）で、簡単に欠席連絡ができることや、発熱の場合は休む必要が出てきたため、全体的に休みが増えたのではないかと。

→ Classi については、案内の配信を確認することができるので、非常に良い。

② スマートフォン使用緩和についての意見が出たが、生徒全員が iPad を持ち、必要な情報は調べることができるため、学校の今まで通りの方針を継続してほしいとの意向となった。

③ 高校 2 学年進級時に文系と理系にわかれるが、大学進学先の検討に応じて、文系でも数学の選択ができるようになれば有難い。

→ 現 1 年生が 2 年生に進級時には数学の授業を全員受講することとなっている。

④ 自習に使用できる場所について、自習室以外に設けてもらえないか。

→ 19 時までは、自習室以外にも教室・カフェテリア・図書室を使用できるようにしている。19 時以降の時間は、教員の目が届きにくくなるため、安全面を考えると 1 階の自習室と自習スペースに制限せざるを得ない。ご理解いただきたい。

⑤ 観点別評価が年次進行により導入されていくため、学年により評価基準に格差が出るので救済措置がほしいと考える。

→ 検討した結果、年次進行により評価基準を統一していく。

⑥ 数年間、コロナにより密になることを控えていたが、今年度の卒業式後にホームルーム教室にて子どもの様子が見れたり、実際の声が聞けて非常に良かった。

⑦ 島本との地域交流の場である夏祭りについて、次年度は、保護者会としても協力できる人数を増やしたい。

⑧ 公立高校に比べて、進路説明会が多いと感じていたが、結果的に親の情報のアップデートや親子の意見交換ができて、話のすれ違いが少なくなり、非常に良かった。以前、進路指導部長から進路説明について、YouTube 配信をされていたが、参加できなかった父親も見ることができるので、欠席者のためにも続けてほしい。

以上

第 2 回実施日時：2024 年 3 月 15 日（金）17:30～

- ・校長より、本校の教育活動とアンケート結果について報告
- ・質疑応答・ご意見

①毎年、生徒と教員の意見交換会を行っているとのことだが、意見交換会を経た後、どのような動きを取られているのか？

→毎年同じテーマというわけではないが、今年度は校則中心の意見交換会となった。

この後、生徒総会を経て、次年度から何点か校則を変更する予定である。

②校則に関して、髪型や長さの基準が広がることで、指導のしにくさが出てくると思うが、職員会議等で教員同士が意見交換し、足並みをそろえる必要がある。

③読書活動に関して、本校でも朝読を行っているが、生徒たちが積極的に読書しているように見えたとしても、楽しんで読書しているかは疑問である。目指すべきは、生徒たちが自ら楽しんで読書する姿である。

④ICT 化が進み、タブレット等の電子機器が普及する反面、読書活動がすたれていく傾向にあると思う。読書の有用性をいかに教えていくかが今後の課題である。

⑤青凌の ICT 化はすっかり定着していると思う。

⑥探究活動に関して、高 2 で行っているクエストなどは、長い準備期間を経て、外部から評価される所がいいと思う。高 3 生の数値が、プラス評価 90%を超えているところが、取り組みのすばらしさを物語っている。

⑦島本高校が閉校になるので、町内の高校は青凌だけになってしまう。島本町では、保幼小中での連携はしているが、高校部を持つ青凌とも、今後様々な形で連携を図っていきたい。青凌には、高校生の元気さを、地域の方々に示してもらいたい。

⑧青凌が、体育祭や文化祭で行っている実行委員制に関して、生徒たちの満足感を高める要因になっていると思う。今後も、継続してほしい。

以上